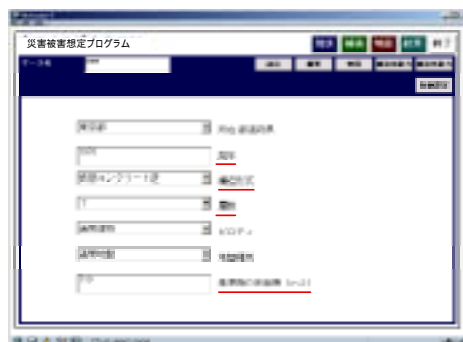


## 災害被害想定プログラム

対象建物の所在地、および最小限の情報（建物の構造、階数、延床面積、建設年）から、想定地震に対する震度、液状化の危険性を予測し、併せてその際の損失率、復旧日数を予測する。ノートパソコン上で瞬時に予測可能。

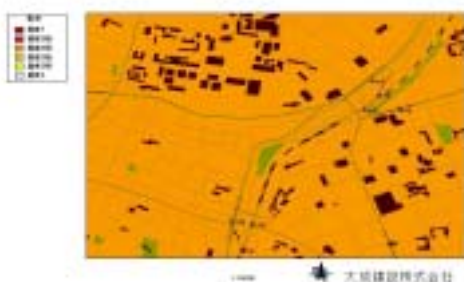
### 1 入力項目



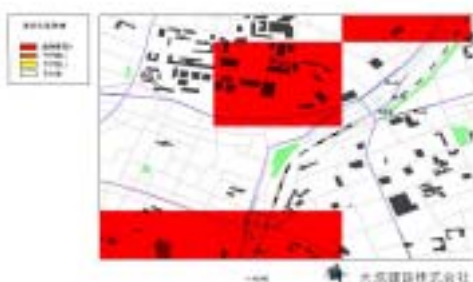
### 2 予想震度、液状化の可能性

想定地震における対象地点での震度および液状化の可能性の検討を簡易に予測。東京湾北部地震における東京地区での計算例は以下の通り。対象地の予想震度は6弱であり、液状化の危険性は低い。

建物名	予想震度	液状化の可能性
本社	6弱	低い



震度分布



液状化の可能性分布

### 3 被害の想定

建物名	損失率	復旧日数
本社	25%	55日

#### 損失率の目安

損失率 15%以下	軽微・小破（簡易な補修）
15%～30%	中破（補修可能）
50%～	大破・倒壊（建替え）

## 機能確保性能チェックリスト

本チェックリストは、(1)ライフライン機能の確保、(2)防災機能の確保、(3)設備設置室の機能の確保という事業継続上のプライオリティに沿って、施設および設備の事業継続性能を436項目に体系化したものである。

### (1) ライフライン機能の確保

#### ・給水

給水供給設備（受水槽、高置水槽、給水・揚水ポンプ、給水配管）の耐震支持・固定、容量、スロッシング対策

緊急遮断弁、緊急時給水栓の設置

ポンプ電源の確保、配線の耐震支持・固定

#### ・排水

#### ・電気

#### ・非常電源

#### ・無停電電源

#### ・ガス

#### ・通信

#### ・医療ガス

換気（換気機器、ダクト）の耐震支持・固定

・仮眠室・休憩室

・トイレ

・サーバールーム

・中央監視室

・MDF室

・電気室

・発電機室

・防災センター

・各種水槽、ポンプ室

・診察・処理室

・各種検査室

・X線関係室

・洗浄・滅菌諸室

・手術室

・調剤室

・病室

・集中治療室

・ナースステーション

・事務室

・サーバー室、画像処理室

・厨房

・医療ガス機械室

・薬品危険物倉庫

・排水処理室

・トリアージセンター

・クリーンルーム

・補機質

・特高変電所

・熱源棟

・水処理棟

・薬液棟

・特殊ガス棟

### (2) 防災機能の確保

#### ・自動火災報知設備

自火報（自火報盤、感知器、配管・配線）の耐震支持・固定

#### ・非常放送

#### ・消火

#### ・排煙

#### ・昇降機

### (3) 設備設置室の機能確保

#### ・災害対策本部

建築部材（天井、建具、床）の耐震補強

什器、備品の耐震支持・固定

通信（通信盤、配管・配線）の耐震支持・固定

照明（照明器具、配線）の耐震支持・固定

空調（空調機器、配管・ダクト、ドレンパン、漏水検知器）の耐震支持・固定